

平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 28 年 8 月 10 日

上場会社名 中央化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 7895

URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 遠藤 勇一 TEL 048-540-2820

四半期報告書提出予定日 平成 28 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期第 1 四半期	14,250	△4.9	△39	—	△392	—	△450	—
28 年 3 月期第 1 四半期	14,986	3.6	171	—	209	—	163	—

(注) 包括利益 29 年 3 月期第 1 四半期 △650 百万円 (—%) 28 年 3 月期第 1 四半期 267 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
29 年 3 月期第 1 四半期	円 銭 △22.36	円 銭 —
28 年 3 月期第 1 四半期	8.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
29 年 3 月期第 1 四半期	百万円 44,722	百万円 7,851	% 17.6
28 年 3 月期	44,740	8,502	19.0

(参考) 自己資本 29 年 3 月期第 1 四半期 7,851 百万円 28 年 3 月期 8,502 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
28 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
29 年 3 月期	—	—	—	—	—
29 年 3 月期(予想)	—	0 00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	31,000	1.2	500	△25.2	400	△10.1	300	△17.4	14.89
通期	60,000	1.0	1,200	50.0	1,000	66.0	700	15.9	34.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	21,040,000株	28年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	891,140株	28年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	20,148,860株	28年3月期1Q	20,148,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、引き続き良好な雇用状況等に支えられた個人消費は堅調さを保っているものの、円高の進行と株価の低迷などを背景に生産、投資に関する諸経済指標は一進一退の状況となり、国内景気は足踏み状態が続いております。

一方、当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、円高の影響などにより消費者物価が前年比マイナスに転じたこともあり、食料品関連の売上が前年同期微減にて推移するなど、個人消費も引き続き足踏み状態に止まっております。

このような環境下、国内では、平成28年春に東京・名古屋・大阪・福岡で開催した「春の商談会」にて展示・提案した「輝咲・陶水・美浜」などのお刺身容器シリーズ、「いろはBOX・波音井」などのお弁当、丼シリーズ、「CTゆう」などのお惣菜容器シリーズなどの新製品、ならびに、新素材であるエコマーク認証のリサイクルA-PET素材を利用した「C-APGシリーズ」も新規上市し、お客様の多様なニーズにお応えする製品の拡販に努めました。また、東北地区においては、東北営業部をショールーム併設の新事務所に移転、仙台には物流センターを新設し、昨秋、再開した東北工場とも連携し、同地区の地産地消推進を図る体制が整いました。

中国においては、経済成長の伸びが鈍化しているほか、株式市場の低迷などを背景に、先行きの景気動向に不透明感が出てきているものの、依然として高い個人消費意欲を維持しております。

なかでも、飲食関連の市場は所得水準の向上を背景に、堅調に推移しており、安全・安心を求める消費者の当社グループ製品に対する期待は一段と高まりつつあり、引き続き安定した需要は確保されております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上が14,250百万円(前年同期比4.9%減)、営業損失39百万円(前年同期は171百万円の利益)、経常損失は円高による為替差損326百万円等もあり392百万円(同209百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は450百万円(同163百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加341百万円等があった一方、機械装置及び運搬具の減少263百万円等により、前連結会計年度末と比べ18百万円減少し44,722百万円となりました。

(負債)

負債は、長期借入金の減少680百万円等があった一方、支払手形及び買掛金の増加234百万円、短期借入金の増加1,000百万円等により、前連結会計年度末に比べ632百万円増加し36,870百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失450百万円等により、前連結会計年度末に比べ650百万円減少し7,851百万円となり、自己資本比率は17.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、3,881百万円となり前連結会計年度末に比べ324百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費725百万円、仕入債務の増加592百万円等があった一方、売上債権の増加597百万円等があり、632百万円(前年同期比265百万円の減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得448百万円、貸付による支出225百万円等があり、700百万円(前年同期比452百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加1,000百万円等があった一方、長期借入金の返済682百万円やリース債務の返済384百万円等があり、66百万円(前年同期比1,082百万円の減)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回(平成28年5月10日公表「平成28年3月期 決算短信」)の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,211	3,893
受取手形及び売掛金	9,229	9,570
商品及び製品	5,482	5,504
仕掛品	716	668
原材料及び貯蔵品	1,257	1,145
繰延税金資産	207	214
その他	2,367	2,797
貸倒引当金	△25	△21
流動資産合計	23,446	23,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,472	6,348
機械装置及び運搬具(純額)	3,629	3,365
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	4,173	4,240
建設仮勘定	552	520
その他(純額)	775	764
有形固定資産合計	20,167	19,803
無形固定資産		
リース資産	50	47
その他	541	557
無形固定資産合計	591	605
投資その他の資産		
投資有価証券	269	266
長期貸付金	181	142
破産更生債権等	41	40
繰延税金資産	82	72
その他	190	231
貸倒引当金	△229	△213
投資その他の資産合計	535	539
固定資産合計	21,294	20,948
資産合計	44,740	44,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,718	10,952
短期借入金	4,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,021	2,019
リース債務	1,378	1,412
未払金	2,601	2,674
未払法人税等	122	22
未払消費税等	76	194
賞与引当金	118	124
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	1,188	1,144
流動負債合計	22,269	23,587
固定負債		
長期借入金	9,175	8,495
リース債務	3,130	3,182
役員退職慰労引当金	34	36
債務保証損失引当金	24	24
退職給付に係る負債	1,381	1,343
資産除去債務	8	8
その他	214	193
固定負債合計	13,968	13,282
負債合計	36,237	36,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,142	△2,592
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,688	8,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	36
繰延ヘッジ損益	△26	△39
為替換算調整勘定	696	460
退職給付に係る調整累計額	△895	△842
その他の包括利益累計額合計	△185	△386
純資産合計	8,502	7,851
負債純資産合計	44,740	44,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	14,986	14,250
売上原価	11,598	10,903
売上総利益	3,388	3,346
販売費及び一般管理費	3,216	3,385
営業利益又は営業損失(△)	171	△39
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	3	4
補助金収入	—	10
為替差益	70	—
その他	47	56
営業外収益合計	125	73
営業外費用		
支払利息	58	63
売上割引	13	12
為替差損	—	326
その他	15	24
営業外費用合計	87	426
経常利益又は経常損失(△)	209	△392
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	4
災害損失	16	25
特別損失合計	17	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	197	△422
法人税、住民税及び事業税	38	20
法人税等調整額	△5	7
法人税等合計	33	28
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163	△450
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	163	△450

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163	△450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△3
繰延ヘッジ損益	△1	△13
為替換算調整勘定	59	△236
退職給付に係る調整額	34	52
その他の包括利益合計	104	△200
四半期包括利益	267	△650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267	△650

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	197	△422
減価償却費	713	725
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	2
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	58	63
為替差損益(△は益)	△14	73
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△4	—
有形固定資産除却損	0	4
売上債権の増減額(△は増加)	△1	△597
たな卸資産の増減額(△は増加)	278	△44
仕入債務の増減額(△は減少)	△161	592
未払消費税等の増減額(△は減少)	△241	123
その他	184	255
小計	1,007	767
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△56	△74
法人税等の支払額	△61	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	897	632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△186	△448
定期預金の預入による支出	△6	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	4	—
貸付けによる支出	—	△225
貸付金の回収による収入	—	25
その他	△55	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247	△700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	1,000
長期借入金の返済による支出	△567	△682
リース債務の返済による支出	△382	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,149	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	△189
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△465	△324
現金及び現金同等物の期首残高	3,183	4,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,717	3,881

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,012	1,974	14,986	—	14,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	392	416	△416	—
計	13,036	2,366	15,403	△416	14,986
セグメント利益	267	48	316	△144	171

(注) 1. セグメント利益の調整額△144百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,863	1,386	14,250	—	14,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	310	331	△331	—
計	12,883	1,697	14,581	△331	14,250
セグメント利益又は損失(△)	61	34	95	△135	△39

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△135百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。